

平成27年 3月23日

報道関係 各位

独立行政法人日本原子力研究開発機構  
理事長 松浦 祥次郎

「『もんじゅ』集中改革の報告書」の提出について

本日、下村文部科学大臣へ「もんじゅ」集中改革の成果と今後の対応を取りまとめた「『もんじゅ』集中改革の報告書」を提出いたしました。

平成25年10月以降の集中改革期間での活動を通じて、「もんじゅ」改革の目標とした諸課題への取組みを実施し、一定の成果が確認できました。今後の「もんじゅ」改革については、これまでの対策を立案して改革を進めていく「集中改革フェーズ」から、改革を組織文化として定着していくとともに、より高い安全・安心を目指した新規制基準対応を行っていく「定着と再生フェーズ」に移行して継続いたします。

今後も、原子力規制委員会からの保安措置命令解除を最優先にし、「安全を大前提に気づけば躊躇せず直す」を原則に改善活動を継続して参ります。

以上